

家庭科 「家庭総合」 学習指導案				
大阪府立芥川高等学校		3年0組		実施日：平成〇年〇月〇日(〇) 第〇時 場所：〇〇〇 指導者：指導教諭
題材 〔単元〕	第8章 快適に住む		教科書名：家庭総合 自立・共生・創造 出版社名：東京書籍	
題材設定の 位置づけ	<p>◎生徒観 本校は地元中学からの進学者が多く、地域に根ざした学校作りに努めている。家庭科では平成6年度男女共修開始時より、数多くの体験型学習を取り入れてきており、2学年は学校全体の協力を得て全員が老人ホームでの体験実習と保育園実習を行っている。また、他の教科でも多くのグループワークやワークショップが行われており、これらの学習を通して「生きる力」と「豊かな心」を育みたい。</p> <p>◎教材観・・・ 生徒は阪神淡路大震災よりも後に生まれた世代となり、東日本大震災についても、報道等で知っているが、「かわいそう 大変だ」と、どこか他人ごとになってしまっている。防災については何も無いときにしか考えることはできず、何も無い時だからこそしっかり考えられる。自分に近い身近なことから考えさせるために生徒が想定しやすい状況を設定し、まず、そこから自分ひとりですること、自分から動けることを考えさせる。</p> <p>指導観 パソコンや書籍の中から適切な情報を収集・分析し、読み取る力を付ける。グループでの話し合いや発表の中でコミュニケーション能力の向上に努める。自分や家族・友人だけではなく、「災害が起こった時に、周りにいる災害弱者となりやすい人々の力になることができる人になって欲しい」という思いを伝え、自らのよりよい生き方を考えることにつなげる。</p>			
題材の 目標	<p>(1) 防災・減災について関心をもち、実践的・体験的な活動を通して、意欲をもって学習に取り組み、行動しようとしている。 (関心・意欲・態度)</p> <p>(2) 災害時の住居や地域の生活を見つめて課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、適切に判断したり自分なりの考えをもち、表現している。 (思考・判断・表現)</p> <p>(3) 災害時の住居や市街地の危険を理解し、高齢者や子どもなど災害時に弱者になりやすい人々に寄り添い、支援するために必要な技術を身に付けている。 (技能)</p> <p>(4) 安全で快適な居住環境・住環境、災害時の危険やとるべき行動・具体的な方法などについて科学的に理解し、安全と環境に配慮した住生活を営むために必要な知識を身に付けている。 (知識・理解)</p>			
題材の 評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	<ul style="list-style-type: none"> 住まいの安全、災害時の行動について関心をもち、学習に取り組みようとしている。 防災・減災について関心を持ち、社会の一員として主体的に行動しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時にとるべき行動や具体的な方法について考え、まとめたり発表したりしている。 今の自分にできる防災・減災について、社会の一員として何ができるか考え、まとめたり発表したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に必要な情報を収集し、選択・整理することができる。 自分の安全だけではなく周りの人、特に災害時に弱者になりやすい人々に寄り添い手助けすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全で快適な居住環境・住環境について理解している。 災害時の危険、とるべき行動や具体的な方法について理解している。

<p>指導計画 (7時間)</p>	<p>第1次 安全な住まい 1時間 第2次 災害に対する備え 6時間 第 1 時 知らないということを知る 認知マップ 第2・3時 その時どうする? みんなで考えると百人力 第4・5時 芥川が避難所になったら 第 6 時 発表・まとめ</p>			
<p>本 時 案 (計 画 第2次の2・3時)</p>				
<p>本 時 の 評価規準</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災について関心をもち、社会の一員として身近なところから「今、自分ができること」を考え行動しようとしている。 (関心・意欲・態度) ・災害時にとるべき行動や具体的な方法について考え、まとめたり発表したりしている。 (思考・判断・表現) ・災害時に必要な情報を収集し、選択・整理することができる。 (技能) ・災害時の危険、とるべき行動や具体的な方法について具体的な事項を理解している。 (知識・理解) 			
	<p>学習活動 (生徒)</p>	<p>指導上の留意点 (指導者)</p>	<p>評価の方法等</p>	<p>教材・教具</p>
<p>第2回 設定 2分</p>	<p>本時の目標を確認する</p>		<p>生徒観察</p>	
<p>追求 ① 5分</p>	<p>普段よく見ている通り慣れた道・場所でも、人は意外としつかりと記憶しておらず、いざという時に大切なことを知らないということを理解する。</p>	<p>災害時の住居や市街地の様子の写真を・映像の入ったパワーポイントを用いて、生徒が「その時(災害時)」を想像しやすいようにする。 (パワーポイント前半)</p>	<p>生徒観察</p>	<p>パワーポイント 「認知マップ」 別紙 1</p>
<p>追求 ② 8分</p>	<p>ワークシート「その時どうする」(1)(2)(3)に記入する。</p>	<p>質問の意図をきちんと捉えているか確認する。(机間指導)</p>	<p>生徒観察 ワークシート (知・理)</p>	<p>ワークシート 「その時どうする?」 別紙 2</p>
<p>追求 ③ 30分</p>	<p>震災時のアンケートや体験記の一部から、実際に災害が発生したときの住居や市街地、人々の様子を学ぶ。</p> <p>パソコンを使ってワークシート「その時どうする」(4)(5)について調べる。</p> <p>順番に (1)(2)(3)について発表し、意見をホワイトボードに書き出し、クラスで共有する。</p> <p>グループ分けをする。</p>	<p>参考図書を示しながら、 ・震災後の市街地の様子 ・実際に被災された方々へのアンケート結果など生の声を集め、情報を伝える。 (パワーポイント後半)</p> <p>情報元のWeb サイトの名前やアドレスを控えさせる</p> <p>机間指導し、適宜、適切なサイトを見つけれられているか確認する</p> <p>次時の活動のために、ホワイトボードに書き出されたクラスの意見を写真に撮り記録する。</p> <p>次時に向けてグループ分けを行う。</p>	<p>生徒観察 (関・意・態)</p> <p>ワークシート (思・判・表)</p>	<p>【参考図書】 *「274人のアンケートから考えた大震災・放射能汚染 3.11 以後の備える・守る 家族のための防災BOOK」(じゃこめつてい出版) *「被災ママ812人が作った子連れ防災実践ノート家族のための防災 book」(メディアファクトリー)</p>

整理 5分	振り返りシートを記入する。 次時の活動に向けて、自分のテーマを決める。 パソコン等で情報を調べてみる。	次の時間にすることを確認する パソコンやスマートフォンでの正しい情報サイトの見分け方等に触れる。 高槻市の防災ノートを紹介する。	生徒観察	プリント 「みんなで考え ると百人力」 別紙3
----------	---	--	------	--------------------------------------

※ 1週間後

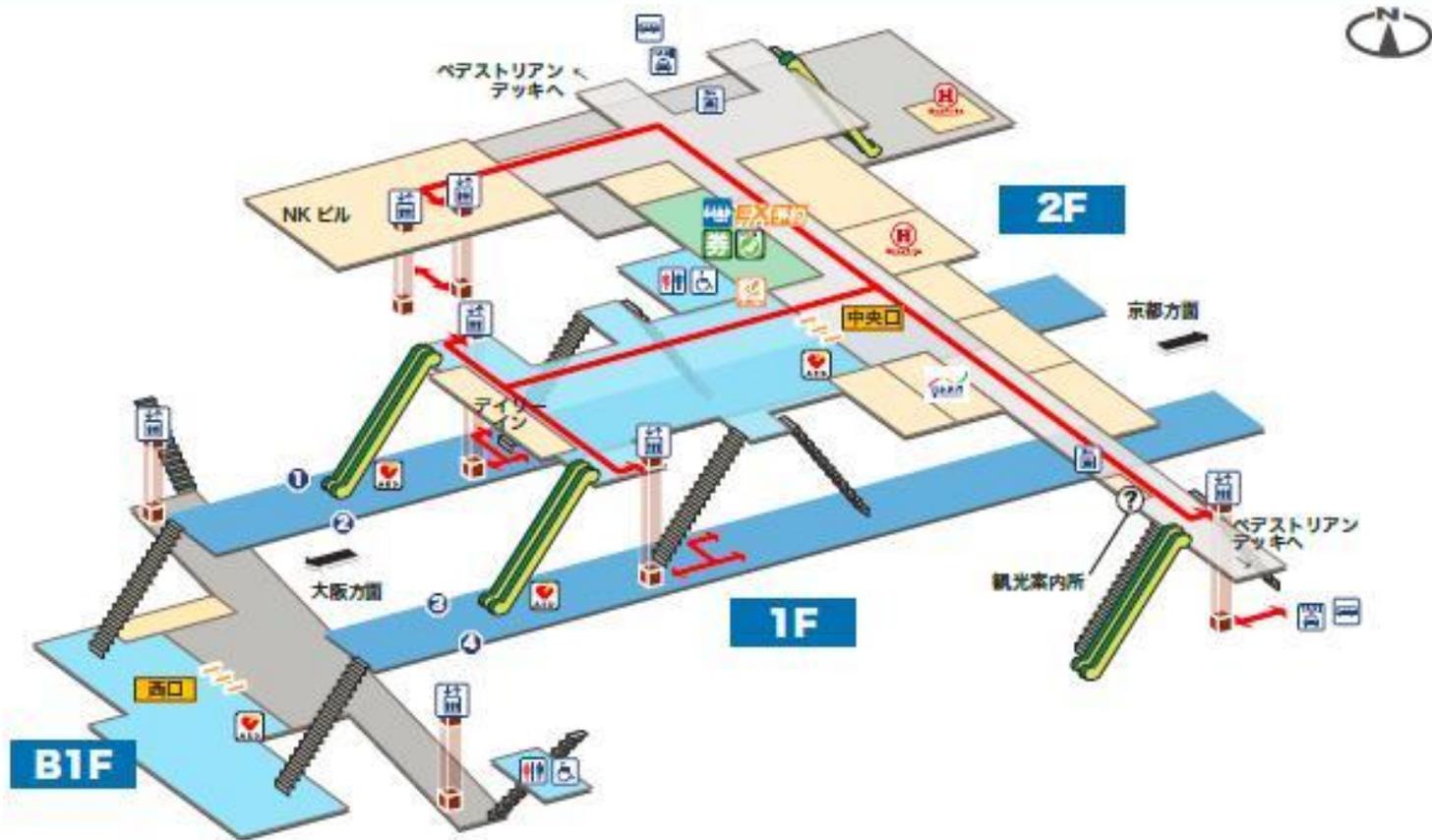
第3回 設定 5分	本時の目標を理解する。 「防災・減災についての ポスター作り」	ワークシートを配付する。	生徒観察	ワークシート 「みんなで考え ると百人力」
追求 ① 40分	グループ（4名）に分かれ、調べてきたことを伝え合う。 ポスターのテーマを決める。 パソコンでポスターを製作する。 役割分担を決める。 ・文章担当 2名 ・イラスト等担当 2名	どのテーマが当たってもいいように 前の時間のホワイトボードの情報はプロジェクターで映しておく。 ・参考資料・参考図書も参考にさせる。 ・パソコンでポスターを製作する場合は、内容の単純なコピー&ペーストや著作権に関わるイラスト等の転載は認めない。 全員が動けるように役割や分担などについて、適宜アドバイスを行う	生徒観察 (関・意・態) ポスター (技)	前時のホワイトボードの記録写真
整理 5分	未完成の場合は2週間後までに完成する。 次の時間の確認		生徒観察	

**「認知マップ」
知っていますか**

**自分の身を守る
みんなと一緒に助かろう**

阪急高槻市駅 JR高槻駅

- 駅改札付近図を書いてみましょう
- 公衆電話の位置わかりますか？
- エレベーターの位置わかりますか



アイコン説明

- | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|------------------|------------------|-----------------------|-------|-----|--------------|---------|----|------|------------------|--------|
| | | | | | | | | | | | |
| みどりの
窓口 | 5489受取り
窓口・機器 | EX予約
受取り窓口・機器 | みどりの券売機
(指定券自動発売機) | 日本旅行 | トイレ | 車椅子対応
トイレ | コインロッカー | バス | タクシー | ハート・イン
(コンビニ) | エレベーター |
| | | | | | | | | | | | |
| 自動体外式
除颤器(AED) | 駅スタンプ
設置場所 | バリアフリー
ルート | 案内所 | のりば番号 | 改札口 | 改札口名 | エスカレーター | | | | |

被災時の住居、市街地の様子がわかる
写真や映像を提示

その時には なんとかならないのです

- 緊急時の連絡方法 → 携帯・PCがだめな時
- 「伝言ダイヤル」の使い方
- 「災害用キット」
- 携帯電話でラジオが聞けるアプリは？
- 「ふらっと案内」
- 「帰宅支援マップ」
- 「(災害時)帰宅支援ステーション」



知っていることではしか
対応できない

探してみよう



参考資料等

Ⅰ 東北発未来塾(NHK Eテレ)

第3週「いざ避難！命綱は「認知マップ」！」

<http://www.nhk.or.jp/ashita/miraijuku/archives/130215.html>

Ⅰ 阪急高槻市駅構内案内図

http://www.hankyu.co.jp/station/pdf/map/takatsuki_shi.pdf

Ⅰ JR高槻駅構内案内図

<https://www.jr-odekake.net/eki/premises.php?id=0610122>

その時 どうする？

別紙2

梅田（地下）・河原町（地上・路面） 買い物に来ました。その時大きな揺れが・・・。
幸い、けがはありません。 自宅にいた家族から無事のメールは入りましたが、自分からのメールは送れませんでした。そのあとは携帯電話もつながりません。電車はすべて止まっています。停電でエアコンも切れています。電車の運転再開は全く見通しが立たない様子です。道路も破損している箇所がたくさんあり、路線バスも止まっています。タクシーも見当たりません。とにかく大渋滞です。現在午後6時です。少し様子を見ていましたが、どうやらみんな歩いて帰るようです。さあ どうする？どうやって高槻まで戻りますか？

細字は生徒の記述から

(1) あなたは どこに・・・()

4月からの生活圏を中心に

その時しなければならないこと・しておいたらいいこと・できること

自分の身の安全確保 落ち着く 深呼吸 周囲の状況を見る。 一人の子どもやけが人や困っている人のフォロー
家・家族に電話 ライン メール ツイッターでつぶやく 店の中に入る 地上への道の確認

(2) 様子を見ているときにできること 5つ

公衆電話を探しておく 買い物（お茶・食べ物・カイロ・電池等） 携帯の災害用キットアプリを出しておく
ラジオ（インターネットラジオ）にする 可能なら現金下ろす ラインで近くにいる友達探す 伝言ダイヤル

(3) もし、自宅にいるときなら まず何をしますか？

どの状況で地震が来るのが一番困りますか？ どうして？ その時どうする？

- ① テレビを見る 携帯を見る
- ② トイレ お風呂 調理中 寝たきりのおばあちゃんと2人だけの時 等
- ③ 不安だから 一人で動けない 様子を見る、家族に連絡する 火を止める 等

(1) (2) (3) の 参考資料として震災時のアンケート結果など配布

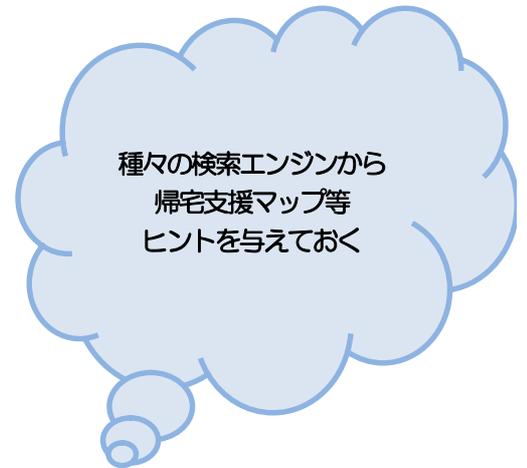
- * 「274人のアンケートから考えた大震災・放射能汚染3.11 以後の備える・守る 家族のための防災BOOK」(じゃこめっぺい出版)
- * 「被災ママ812人が作った子連れ防災実践ノート家族のための防災book」(メディアファクトリー)

**(4) あなたが4月から 通学 通勤 する場所の近くの帰宅困難時支援場所になりそう
なところは？**

京都の例を紹介

(5) かばんの中にあったら助かるものは？

水(ペットボトル) お菓子とかのちょっとした食糧 充電器 電池
ぬれティッシュ 絆創膏 タオル 傘 カイロ アドレス帳作っておく



(6) 帰宅ルートを探そう 3つくらいは見つよう

道路名 ポイントになる場所の住所 建物 危険が予想される個所など

線路伝い以外

授業後の振り返り

* 授業受けて一番印象に残っていること

* 今、あなたにできること

みんなで考えると 百人力

グループで調べて掲示物を作り、発表します

- ①大きな商業施設（阪急百貨店とかヘッブとか）・地下街にいたときの対処法
- ②たくさんのビルや商店のある繁華街にいたとき（河原町通りとか新京極とか・・・）
- ③自宅にいたときの対処法
- ④様子を見ている間にできること
- ⑤梅田または河原町あたりで帰宅困難時支援ステーションになる場所を探してみよう
- ⑥梅田 または 河原町 から 高槻に帰るルートを探そう。
- ⑦いつも持っているといいものを リストアップ(いろいろな人のことを考える)
高齢者 子どもがいる 病気がある人 等
- ⑧こうなる前にしておくべきこと

参考資料 * 「教育図書 防災の話 抜粋」プリントしてあります
* 「じゃこめてい出版 備える守る 防災ブック」 3冊あります
* 「帰宅支援マップ 関西版」 2冊あります

注意事項

- * 基本的に公的機関の Web サイトから情報を収集してください
- * 個人のブログ・ツイッターなどの場合、信頼性をしっかり考えてください
- * 情報の出所(URL)を必ず明記すること

コメントシート

() 班さんへ

コメントシート

() 班さんへ